

みらいの風

第15号

発行日：平成31年1月20日
 発行所：宇都宮市議会「自民クラブ」
 住所：宇都宮市旭1-1-5
 電話：028-632-2621
 FAX：028-632-7027

2019 謹賀新年



「選ばれるまち、宇都宮市」

の実現を目指して

会長 南 木 清 一

国においては、昨年9月に発足した新しい安倍内閣のもと「平成」の、その先の時代に向かって、あらゆる政策を総動員し、女性も男性も、お年寄りも若者も、障がいや難病のある人も、誰もがその可能性を十分に発揮できる社会を実現できるよう、全ての世代が安心できる社会保障制度改革をはじめ、女性活躍の推進やAI（人工知能）、ロボットなど最先端のイノベーションによる生産性革命、国土強靱化の推進、そして、活力ある地域社会の実現に向けた地方創生の深化などに積極的に取り組んでおります。

本市においても、昨年3月に策定した「第6次宇都宮市総合計画」で掲げた、将来のうつのみや像である「輝く人の和 つながるまちの環 魅力と夢の輪 うつのみや」の現実を目指し、「子育て・教育」、「健康・福祉」、「安心」、「魅力創造・交流」、「産業・環境」、「交通」の6つの未来都市の各分野における取組を着実に推進するとともに、多様な分野の様々な主体が参画し、それぞれが連携することにより、「人づくり」と「まちづくり」を一体的に推進し、まちづくりの好循環の創出に取り組み始めたところであります。

今後、このまちづくりの好循環を加速させていくためには、まちづくりの根幹となる「人づくり」では、市民の結婚・出産・子育てに対する希望の実現をはじめ、児童虐待防止策の強化や、次世代を担う若者をはじめ、誰もが生涯にわたって主体的に学ぶことができる環境づくり、医療・福祉が充実し、

高齢者、障がい者、子どもなど全ての人が安心して暮らすことができる社会の実現、多様な生き方を尊重する共生社会の形成などに取り組んでいく必要があります。

また「まちづくり」においては、ネットワーク型コンパクトシティの形成に向けて、本市の顔として魅力的な機能を備えた都市拠点と、日常生活を備えた地域拠点の創出、そして、これらの拠点を結ぶLRTをはじめとした階層性のある総合的な公共交通ネットワークの構築、近年の進展の著しい情報通信技術の活用などによる農・工・商・サービス業等の産業振興、環境にやさしい低酸素・環境型社会の構築、近年、頻発する様々な災害に対応できる強靱なまちづくり、そして、本市の魅力創造し、市外に発信することで、人や企業から選ばれるまちづくりなどに取り組むことが重要であります。

厳しい財政状況においても、このような時こそ、LRTの整備をはじめとする、我々の子孫と将来のまちの姿を見据えた投資が必要であり、更なる施策・事業のスクラップ・アンド・ビルドを徹底していかねばなりません。

我々自民クラブは、引き続き、市民に信頼される議会を目指し、既存に捉われないことなく、市民と共に行動し、新しい時代を切り拓いていく気概をもって、政策の立案と行政のチェックを行ってまいります。

「今こそ元気を！」

住めば
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA

みなさまの率直で遠慮のない
ご意見・ご感想をぜひお聞かせください!!

自民クラブ

TEL 028-632-2621

FAX 028-632-7027

●ホームページ URL <http://jimin-club.jp> ●メールアドレス info@jimin-club.jp

平成30年11月1日 要望書を提出

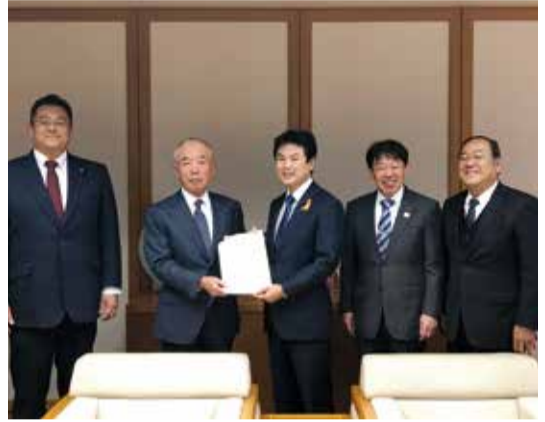
市長に平成31年度予算要望書を提出

1、「未来都市つつのみや」づくり

- コンパクトシティの形成を積極的に進める
- ・拠点や生活圏の立地適正化や都市計画道路の整備を積極的に推進
- 公共交通ネットワークを構築し、誰もがどこへでも移動しやすい環境を整備
- ・東西基幹公共交通としてのLRT事業の推進
- ・バス路線の充実と地域内交通の促進
- ・高齢者・運転免許返納者・交通弱者への公共交通の段階的無料化への取組の推進
- ・LRTの広域化を図り、近隣市町との交通ネットワークの構築
- ・JR新駅の設置（JR岡本駅とJR宇都宮駅間、JR宇都宮駅とJR雀宮駅間）
- ・JR雀宮駅と東武西川田駅間の新ルートの公共交通の開通
- JR宇都宮駅東西地区の整備事業の早期実現
- 北西部地区への工業団地・商業施設の開発を推進
- 自治会への加入率を向上させるため、単位自治会への運営・活動支援の充実

2、安全で安心なまちづくり

- 地域防災体制の強化
- ・防災教育の充実
- ・消防力の強化
- ・公民館・集会所へのAED設置補助制度を導入
- ・耐震化事業を推進
- ・大雨における道路・河川・傾斜地の防災対策の強化
- ・道路の整備と維持管理を積極的に推進
- 地域防犯対策の強化
- ・防犯カメラの設置や特殊詐欺の未然防止策の強化
- 空き地・空き家対策の充実
- 歩きスマホ禁止条例を制定
- 「自転車のまち」の推進



3、子育てにやさしいまちづくり

- 安心して子どもを産み育てる環境の充実
- ・産前産後の安心ケアシステムの更なる構築
- 保育教育の更なる充実
- ・幼・保・小の連携の充実
- ・保育料の無償化の推進とこれに伴う市単独補助金の子育て事業への利活用
- ・待機児童の解消と保育サービスの充実
- ・保育教諭・保育士の確保
- ・病児保育事業の更なる充実
- ・障がい児保育教育の充実
- 子どもの貧困対策の充実
- 宮つ子ステーション事業の充実と指導員の確保
- 青少年の健全育成と自立支援
- 児童虐待防止策の強化
- 児童相談所の設置を推進
- 4、観光資源を活用したまちづくり
- 「自転車のまち宇都宮」を発信し、更なる来訪者・観光者の呼び込み

5、人にやさしいまちづくり

- AI(人工知能やIoT)などの情報通信技術を活用した市民生活の質の向上を図る
- 健康つづのみや21の更なる推進
- ・高齢者の健康寿命の延ばす政策の強化
- ・高齢者を地域資源と捉え、子ども福祉として人材活用
- ・進んで健康診断を受けられる環境をつくりと受診率の向上
- 将来の健康寿命の延伸に向けた健康教育の充実
- 地域包括ケアシステムの構築を更に推進
- ・目に見える地域包括ケアシステムの構築
- 生活の安定と自立の支援
- ・生活困窮者への援助と自立支援
- ・生活保護受給者の自立支援

6、雇用促進と力強い産業のまちづくり

- ・認知症対策や障がいのある人の生活の充実
- DV対策の強化
- 雇用促進と力強い産業のまちづくり
- ・雇用の環境整備と雇用の創出
- ・若年層の雇用の創設と拡大
- ・女性の雇用の更なる拡大と労働環境の整備
- ・高齢者の雇用の促進
- ・雇用の正規化と最低賃金の向上
- ・起業家創出事業の推進
- ・次世代イノベーションの推進
- 力強い産業基盤の確立を推進
- ・AIやIoTなどの情報通信技術を活用した経済の活性化を図る
- ・企業誘致・定着促進の推進
- ・中小企業・地場産業の育成・支援
- ・健康経営の推進と支援

7、農業王国つつのみやの推進

- 持続可能な農業を推進
- ・AIやIoTなどの情報通信技術を活用した農業振興を図る
- ・適地適作の推進による新規作物の導入及び産地づくりを推進
- ・親元担い手への支援の充実を図り、持続可能な農業を推進
- ・生産力を高めるための水田農業の効率化、大規模化・汎用化を推進と、農業施設の長寿命化対策
- ・収益性の高い施設園芸への構造改革を図る
- ・付加価値の高い6次産業への促進を図る
- 宇都宮ブランドの確立と推進を図る
- ・果物・野菜の更なるブランドの確立を図る
- ・宇都宮ブランド米の増産支援と消費拡大・販路拡大への支援を図る

8、教育力日本一のまちづくり

- AIやIoTなどの情報通信技術を活用した教育の推進
- 教育環境の充実
- ・安心して教育に専念できる職場環境の整備
- ・質の高い教員の育成に更なる指導体制を構築
- ・夢を持ち、夢をかなえられる、教育に係る貧困対策の強化
- ・配慮を必要とする児童生徒

に対する指導の充実
魅力ある学校づくりを推進し、文部科学省の推奨するコミュニティ・スクールの導入を目指す

- 心の教育の充実を図る
- ・心の教育の充実を図り、人間力の向上を図る
- ・いじめゼロ運動の展開と児童虐待防止対策の強化
- ・宇都宮市の歴史教育を通じて、郷土愛・愛国心を育む

平成30年9月議会定例会 一般質問

9月6日

質問者 塚田典功

一般質問



LRTを中心とした交通未来都市つつのみやを目指した取り組みについて

市長答弁

LRT沿線の総合的なまちづくりを進めることは、持続可能な都市の実現や人口減少対策としても、大変効果があります。LRT沿線につきましては、「居住や商業・医療などの生活利便機能の誘導」、新たな交通結節拠点となる(仮称)平出町停留場周辺への「多くの人が行き交う、立地ポテンシャルを生かした交流機能などの導入」に取り組んでいます。また、LRT沿線にある豊かな自然環境などの地域資源を生かした交流促進につながる取組みも検討するなど、LRTと一体となった路線のまちづくりに取り組んでいます。更には、これらの取組に合わせ、環境負荷の少ない、持続可能なまちづくりを推進するため、LRTのトランジットセンターにおける、太陽光発電などの「省エネ・再エネ設備の導入」などの検討を進めているところがあります。今後は、LRTを基軸とした交通や、環境・経済など様々な行政分野が一体となった、総合的なまちづくりをより一層推進することで、都市全体の活性化や魅力の向上など、まちづくりの好循環につながります。ことから、市内外の多くの人や企業に選ばれ、暮らしやすい、集いやすい100年

心を育てる
○学力の向上を図る
・質の高い教育により、学力の向上を図る
・英語教育の強化を推進
○体力の向上を図る
・基礎体力の強化を推進
○北西部体育施設に特色あるスポーツ施設の設置
・ボルダリングの競技施設の設置
・スケートボードの競技施設の設置

歯と口腔の健康づくりについて

部長答弁

「第2次宇都宮市歯科口腔保健基本計画」の現在の取組状況につきましては、乳幼児期から高齢期まで、ライフステージに応じて切れ目なく事業を展開しており、学齢期までの虫歯予防のための「フッ化物塗布事業」や「小学校における歯の健康教室」、成人期の歯周予防のための「歯科健診」、高齢期の8020運動推進のための「高齢者よい歯の表彰式」などの事業を積極的に推進しています。特に、成人期につきましては、歯周病の治療や取組をしていない人の割合が増加していることが、重点課題となっております。事業所などと連携して、働く世代の歯周病対策に取り組んでいるところですが、実施にあたっては、「かかりつけ歯科医をもち、定期的に歯科健診を受診し、歯周病を予防することの重要性」などを内容としたリーフレットを作成し、市内の事業所や各保険者などに配布し、周知啓発に努めているところです。今後は、従業員、自ら「歯と口腔の健康づくり」に取り組んでいただけるよう、歯科衛生士が事業所に出向き、歯周病予防のため、正しい歯みがきの実技などを行う「歯と口腔の健康づくり出前講座」を実施するほか、歯周病などに関するセルフチェックシートを活用し、歯科健診への意識を高めるなど、定期的な歯科健診の主体的な受信につなげる事業についても、検討していきます。

9月7日
質問者 金子武蔵



一般質問

宝木地区における山崎街道及び宇都宮環状線と交差点付近の渋滞緩和について

部長答弁

山崎街道と環状線の交差点につきましては、朝夕に混雑が見られますことから、国・県が選定した主要な渋滞区間に位置付けられており、さらに、本交差点を含む山崎街道については、仮称大谷スマートインターチェンジのアクセス道路となることから、交差点における円滑な交通処理を図る必要があると考えています。そのため、県と市では、適切な役割分担のもと、道路整備を行うこととしており、県では、環状線の渋滞緩和を図るため、本交差点の北側において、山崎街道へ進入する右折レーンを40メートルから150メートルに延伸し、さらに、若草歩道橋付近までの約500メートル区間について、北進方向の直進車線を2車線から3車線に増やすなど、整備が平成27年度に完了しました。本市では、山崎街道から環状線へスムーズな侵入を図るため、左折レーンの設置に向けて、用地交渉を進めています。引き続き、関係権利者のご理解・ご協力をいただきながら、山崎街道の交差点改良の早期完成に向けて、事業を推進していきます。

細谷・上戸祭地区における市道1160号線及び宇都宮環状線との交差点付近の渋滞緩和と通学路の安全対策について

部長答弁

市道1160号線及び環状線との交差点につきましては、本市の北部方面から中心市街地へのアクセス道路として交通量が多い状況にあり、また、上戸祭小学校の通学路の一部に位置づけられており、円滑な道路交通の確保が必要であると考えています。これまで、通学路の安全対策として、市道1160号線における時間帯の自動車通行規制や路肩の修繕などを行ってきましたが、本路線につきましては、道路幅員が狭小であり、交通に支障をきたしており、環状線との交差点から長岡街道と戸祭台通りとの交差点までの延長720メートル区間では、車道の2車線化や右折レーンを設置するとともに、児童を含む歩行者の安全を確保するため、歩道を整備します。現在、用地取得を進めており、本年度には、一部の区間では、工事着手する予定であります。また、県では、宇都宮北道路と宇都宮環状線について、2020年度の開通を目指し、立体化工事を進めており、引き続き、地域の皆様や関係する権利者のご理解・ご協力をいただきながら、市道1160号線における道路整備の早期完成に向けて、事業を推進し、交差点付近の渋滞緩和に取り組むとともに、通学路の安全確保に努めてまいります。

する地域内交通」がそれぞれの役割に応じた、誰もが移動しやすい階層性のある公共交通ネットワークの構築を目指しております。

「誰でもどこへでも移動しやすい交通環境の整備」については、ハード・ソフト両面での乗り継ぎ利便性の向上を図ることが重要であると認識しており、これまで、平成21年9月に策定した「宇都宮市交通戦略」に基づき、「サイクル・アンド・バスライド用の駐輪場の整備」や「交通結末点におけるバス接近表示機の設置」「鉄道とバスとのダイヤ調整」などに交通事業者とともに取り組んできました。今後は、これまでの取組に加え、LRTの導入を契機として、鉄道やLRTをはじめ、バスや地域内交通、さらには、自動車や自転車など、多様な交通手段の結節点となるトランジットセンターの整備や来街者も含め、誰でもわかりやすい案内サインの整備など、ハード面での乗り継ぎ利便性向上に取り組んでまいります。また、トランジットセンターの整備など、ハード整備のみならず、ソフト面につきましては、公共交通の運賃負担の軽減を図ることが重要であり、現在、「乗り継ぎ割引」や「上限運賃制度」などにつきましても、交通事業者とともに検討しており、バス事業者が目指しております。2021年度春の路線バスへの交通ICカードの導入と合わせたサービスの展開が可能となるよう取り組みます。今後とも、交通事業者と連携を図りながら、誰でもが利用しやすい公共交通の充実に取り組んでまいります。

平成30年12月議会
12月6日
質問者 舟本肇



一般質問

バス路線の充実と地域内交通の促進及び高齢者・運転免許返納者交通

通弱者への公共交通の段階的無償化への取組について

市長答弁

本市におきましては、人口減少、少子・超高齢化社会においても、市民一人ひとりが安心して、自立した生活を送ることができるよう、「鉄道やLRTによる基幹公共交通」「バスによる幹線公共交通」と「地域を面的にカバー

一般質問

奈坪川の整備改修工事と御幸ヶ原地域の雨水対策について

部長答弁

奈坪川については、これまで、平松本町や駅東地区の土地区画整理事業などに合わせ、流下能力向上のため、計画的に整備を行ってきたところであり、今年度、白陽高校西側におきまして、既存河川とトンネル河川の接続が完了いたしました。「今後の奈坪川の整備」については、競輪場通りの横断部で河川幅を拡げるため、橋梁工事を実施していく予定であり、完了次第、順次上流に向けて護岸などの整備

備を行ってまいります。

また、「御幸ヶ原地域における奈坪川第1排水区の公共下水道 雨水幹線整備」については、放流先となる奈坪川の改修に時間を要しますので、雨水幹線を暫定貯留管として利用することとし、平成15年から平成18年度に御幸ヶ原公民館東側の東西道路に整備したところであり、更に、現在、公民館南側の南北道路において今年末を目途に整備を進めています。この、雨水幹線の供用開始に伴い、御幸ヶ原地域の幹線道路となる市道544号線において、大雨時に発生していた道路冠水が軽減される見込みです。なお、これらの雨水幹線から離れた地域での道路冠水対策については、奈坪川や雨水幹線の整備状況を見極めながら、冠水する地域の地形を踏まえ、雨水排水管の整備など、様々な手法を検討してまいります。また、当面の間、浸透枿の増設や透水性舗装による整備により、流出抑制を図るとともに、適宜、側溝などの道路排水施設を清掃し、既存の排水能力を十分に確保するなど、浸水被害の軽減に努めてまいります。

公民館・集会所へのAED設置補助金制度の導入について

部長答弁

AEDは医療機器であり、適切に管理が行われなければ、人の生命及び健康に重大な影響を与える恐れがあることから、設置後には「点検担当者」を配置し、日常点検を行う必要があることや、施設において常に使用できるひとがいること、更に、維持管理経費など、自治会側の負担も考慮し、貸出制度により対応しているところであり、…との答弁であり

「人の命の大切さに関わる認識」に大きな隔たりがあり、また、地域ごとの諸般の事情も全く把握をしていない、配慮のない、大変残念な答弁でした。

12月7日
質問者 今井政範



一般質問

風疹対策について

部長答弁

本市における成人の風疹罹患患者数は、平成29年度の発生はありませんが、今年度は11月末現在で2人となっています。また、本市保健所における風疹抗体検査実施者数については、平成29年度は250人でありましたが、今年度は11月末現在、昨年度と比べ、約2.5倍の622人となっております。また、風疹予防接種実施者数については、任意接種となるため把握はしておりませんが、本市で実施する風疹抗体陰性者予防接種補助金の利用者については、平成29年度は125人のところ、今年度11月末現在で、昨年に比べ、約1.6倍の195人となっております。次に、先天性風疹症候群を発生した子どもについては、本市では、平成29年度から今年度11月末現在まで、発生しておりません。次に、風疹抗体検査と予防接種の対象者につきましては、本市では、国の特定感染症検査等事業実施要綱に基づき、妊娠を希望する女性や妊婦と接触することが多い同居家族等を対象としており、本市の予防接種補助金の対象者につきましては、国の実施要綱の対象者を準用してまいります。次に、予防接種補助金の手続きの簡素化については、より多くの方に摂取していただけるよう、現在、保健所で配布しています申請書類の配布先を拡大し、市民の利便性を確保するなど、手続きの簡素化について検討してまいります。次に、予防接種の無料化については、現在、国において他の世代に比べて免疫の低い30代から50代までの男性について定期接種の対象とし、無料化について検討されており、その動向を注視しています。次に、より徹底した周知については、今後、国において、定期接種の対象が、30代から50代までの男性に拡大された際に、全ての対象者に接種していただ

けるよう、県と連携した企業など職域への働きかけやホームページや広報紙での特集記事の掲載等、市民へのきめ細やかな周知に努めてまいります。

空き家・空地対策について

部長答弁

空き家の件数は、平成29年度に空き家実態調査を実施し、戸建ての空き家を4,831戸把握したところであり、平成25年度の前調査と比較しますと、約200戸の空き家が増加している状況にあります。次に、管理できない箇所件数については、把握した4,831戸のうち管理ができておらず、雑草の繁茂や建物に破損などが見られる空き家が1,369戸あることを確認しており、これらのうち、周囲に悪影響を及ぼすすべての空き家について、「空き家対策の推進に関する特別措置法」に基づき、指導等を実施してまいります。

次に、空き家バンクについては、本市におきましては、「宇都宮空き家会議」に参加いただいている不動産事業者と連携を図りながら、所有者の意向に応じた売却等の取次ぎ支援などに取り組んでおり、これらの官民が連携する仕組みを更に充実させていく取組として、「空き家バンク」が効果的な施策であると認識しており、年度内の開設に向けた準備を進めています。また、「空き家バンク」を多くの方にご利用いただくためには、所有者や不動産事業者に対する周知とともに、市民に広く認知していただくことが必要でありますので、制度の周知など自治会等との連携につきましても、検討してまいります。



行政視察報告

沖繩

平成30年11月19日 糸満市

「平和行政」について

今回の視察では、研修の中で、元軍国少年で語り部の方の沖繩戦体験談の映像記録を拝聴した。戦争体験者でないと言っていることができない貴重な映像記録事業で、国民学校での竹槍訓練や野戦病院での負傷した兵隊の衝撃的な光景で、軍人を大事にするという学校で教えられてきたことと違って見えたと言われ、沖繩の方々の苦勞と戦争の恐ろしさを感じた。しかしながら、この体験談には、ほんの一部に主観的な部分もあり、歴史を学ぶ上では、多角的視点が必要で、そこから子ども達も自ら考える力を養うことが大切だと思えました。ただ、沖繩戦は、沖繩のみならず、日本国民が知るべき内容で、小・中学校で積極的に取り入れていただきたいと感じた。今回の視察では、本市の宇都宮学という郷土の歴史事業を始めるうえで、大変参考になりました。

11月20日 名護市

「なごアグリパーク、金融・IT国際みらい都市」について

「なごアグリパーク」については、地元野菜、果樹や肉類の6次産業化施設があり、そこでも買い物や地産地消のレストランで食事ができるという非常に恵まれた施設に感じた。しかし、裏を返せば、やはり、6次産業化を押し進めなければ、さらなる雇用の創造や所得の向上が期待できないという厳

しい沖繩の経済状況を感じた。本市の農業振興地区でも、6次産業化や様々な手法で所得の向上や生産振興に取り組んでいるので、大変参考になりました。

「金融・IT国際みらい都市について」は、沖繩という地理的優位性を活用し、東アジアを結ぶ拠点として、自立型産業の構築を目指し、企業立地に力を入れ、その中の施策として金融IT国際みらい都市がある。名護市の財政力は本市より少ないが、国からの交付金により、恵まれた環境整備が進められ、研修時には特区を訪れ国からの交付金の力に圧倒されました。同時に、交付金が要らなくなるまで、交付金で経済的自立性を促すことが必要だと感じました。

11月21日 うるま市

「うるま市農水産業振興戦略拠点施設」について

本市の道の駅ろまんちっく村の指定管理者であるファーマーズフォレスト社が、うるま市で地元行政や地元企業とワインウインの関係で事業を構築しているのが印象的でした。直売所には、本市のお米や6次産業化された宮ゆず、地元食材が用意され、宇都宮のお米は美味しく人気があるとのことでした。沖繩の東南アジア圏を含めた地理的優位性、地元市と企業のウインウインの関係をさらに広範囲で構築することにより、うるま市と本市の更なる発展の可能性を感じることができ、うるま市との良好な関係構築が必要だと感じ、本市の6次産業化と輸出にとり、良い参考になりました。



うるマルシェ スタッフとの意見交換



うるマルシェ 内観 宇都宮市ブース



うるマルシェ 説明



なごアグリパーク

自民クラブメンバー紹介

清原地区



【連絡先】
宇都宮市上籠谷
町1739-1
TEL 667-0343

岡本 芳明

総務会長

環境経済常任委員会委員
後期高齢者医療広域連合協議会議員
通学区域審議会委員

戸祭・昭和地区



【連絡先】
宇都宮市松原1
-2-12
TEL 627-1662

塚田 典功

幹事長

建設常任委員会委員
国民健康保険運営協議会会長
議会運営委員会委員

平石地区



【連絡先】
宇都宮市平出町
2923
TEL 661-0775

南木 清一

会長

厚生常任委員会委員
中央卸売市場運営協議会委員

城山地区



【連絡先】
宇都宮市駒生町
2633
TEL 652-0669

細谷 美夫

相談役

文教消防水道常任委員会委員
社会福祉審議会委員

国本地区



【連絡先】
宇都宮市宝木本
町1150-11-A
-201
TEL 665-5822

金子 武蔵

文教消防水道常任委員会副委員長
議会運営委員会委員
広報広聴委員会副委員長
交通安全審議会委員
環境審議会委員

陽東地区



【連絡先】
宇都宮市陽東1
-16-12
TEL 660-1240

今井 政範

監事

総務常任委員会委員
廃棄物減量等推進審議会委員
広報広聴委員会委員

御幸・御幸ヶ原地区



【連絡先】
宇都宮市御幸ヶ
原町155-1
TEL 689-3711

舟本 肇

政調会長

環境経済常任委員会委員長
都市計画審議会委員

私たちはいつでも皆さまとともに考え行動していくことが基本姿勢です。

皆さまが日頃感じている暮らしの中のご意見・ご要望を、身近な議員にお気軽にお寄せください。